

運輸安全委員会ダイジェスト

JTSB (Japan Transport Safety Board) DIGESTS

第26号 (平成29 (2017) 年12月発行)

航空事故分析集

非常脱出時の脱出スライド使用における負傷等について

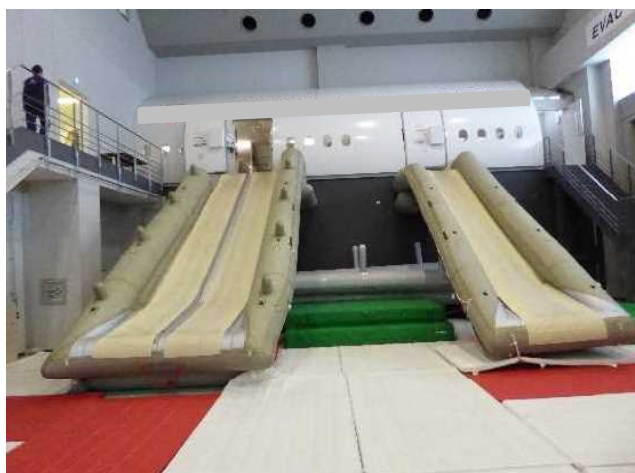
1. はじめに	1
2. 負傷者の発生状況	2
3. 事故調査事例	6
4. まとめ	16

1. はじめに

飛行機には、非常着陸などの際に火災発生等の可能性を考慮して搭乗者ができるだけ迅速に機内から脱出できるように非常脱出のための装置を設けておかなければならないことになっていますが、この非常脱出のための装置の一つに脱出スライドがあります。

昭和49(1974)年に前身である航空事故調査委員会が発足してから、運輸安全委員会は約1,500件の航空事故等調査報告書を公表していますが、このうち14件で脱出スライドを使った非常脱出が行われており、うち13件で乗客が負傷しています。

今回の運輸安全委員会ダイジェストでは、もしもの場合に身を守るための参考として、これまでに公表した航空事故等調査報告書から、脱出スライドを使用した事例について紹介します。



脱出スライド (訓練用)